

文/三浦真紀

究極のクラシック・ミュージカル6年ぶりの来日公演!

ベン・フォスターとポール・ポッツ
ふたりのスーパースターがオペラの名曲を歌う!

1992年から2018年にわたり、6回の来日公演が行われているこの人気作。今回、怪人演じるのはベン・フォスターだ。2012年、ロイド・ウェバーが製作したイギリスのオーディション番組「スーパースター」で優勝し、「ジーザス・クライスト=スーパースター」アリーナ・ツアーの主演を勝ち取った実力派。2016年、ウエストエンド30周年公演「オペラ座の怪人」(ロイド=ウェバー版)ではファントム役に抜擢された。時に力強く、時に情感溢れる歌声は誰もが魅了されるだろう。ミュージカルの全幕ものでは初来日となり、どんな怪人が現れるのかに期待したい。また劇中劇のファウスト役にはポール・ポッツ。2007年、「プリテンズ・ゴット・タ

レント」初代チャンピオンになり、携帯電話のセールスマンからテノール歌手に転身した伝説の人。彼も日本では初舞台となる。フォスターとポッツ、類まれなる才能が参加する『オペラ座』ケン・ヒル版。ぜひその目で確かめて!



ステージ写真は過去公演より

公演詳細 <https://w.pia.jp/t/operaza24/>

ミュージカル『オペラ座の怪人』~ケン・ヒル版~ チケット発売中

■ 2024年1月17日(水)~28日(日) 東急シアターオーブ

■ 全席指定 / S席: 13,000円 A席: 9,000円 B席: 6,000円

※未就学児童は入場不可。

【原作】ガストン・ルルー『オペラ座の怪人』(上)

【脚本・作曲】ケン・ヒル

【出演】ベン・フォスター Ben Foster(ファントム役)、ポール・ポッツ Paul Potts(ファウスト役)、他、来日カンパニー

怪人は哀しい人——
原作の味わいを色濃くのこす秀逸な人間ドラマ

『オペラ座の怪人』といえば、アンドリュース・ロイド=ウェバー音楽のミュージカルを思い出す人も多いだろう。しかし実はそれ以前に作られた、同名のミュージカルがあることをご存じだろうか。ロンドン・プリンジ(一般に小劇場の意)の鬼才と呼ばれたケン・ヒルが作詞・作曲・脚本を手掛け、1976年に初演。ロイド=ウェバーはこのケン・ヒル版を観て着想を得たとされている。実際、ケン・ヒルに共に作ろうと声をかけたこともあったようだが、それは実現せず、いまだにそれぞれの『オペラ座』が上演され続けているのは興味深い。

ケン・ヒル版は原作であるフランスの作家ガストン・ルルーの同名小説に忠実で、よりクラシカル。それでいてコメディセンスに長けているのが面白い。殺人シーンですらユーモアで包み、巧みな人間描写で観る者を物語

に誘う。音楽はビゼー、ドヴォルザーク、ヴェルディなどオペラの有名なアリア、モーツァルト、ドニゼッティらの美しいメロディが散りばめられている。この曲がこのシーンで!という新鮮な驚きを感じられることだろう。

個人的に好きなシーンは、1幕ラスト近く。クリスティーンとラウルの逢瀬を、怪人が影像の後ろで窺っている。なかなかのストーリーっぷりが可笑しいが、その姿は切なさも漂う。そこからオフペンバック『ホフマンの舟歌』をモチーフにした三重唱『To Pain My Heart Selfishly Dooms Me』へ。洒落たオペレッタのようで、ケン・ヒル版ならではの味わいがたまらない。サスペンスとロマンス、バックステージものと様々な要素を織り混ぜながら、最後には異形の者として生きざるを得なかった人間の哀れが浮かび上がる。そう、怪人は哀しい人なのだ。



今すぐ買える!

この公演のチケット購入や詳しい情報はコチラから。



※ご購入にはチケットぴあの会員登録が必要です。

	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
12:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13:30	○	○	○	○	○	休	○	○	○	○	○	○
17:00	○	○	○	○	○	休	○	○	○	○	○	○
18:30	○	○	○	○	○	休	○	○	○	○	○	○